

文化芸術交流事業に必要な経費

文化協力事業費

1. 催し等事業費

(1) 文化協力（主催）

(2) 文化協力（助成）

文化協力事業費

1. 催し等事業費 / (1) 文化協力（主催）

海外の無形及び有形の文化財保存に協力するため、専門家の派遣・招へい、国際共同研究、専門家会議、セミナー、ワークショップ等を実施する。

合計額 16,878,542 円

	事業名	氏名	現職	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
1	美術館運営支援	山領 まり	山領絵画修復工房 絵画修復家	ルーマニア	ルーマニア国立美術館 在ルーマニア大使館	2010.03.07 ～ 2010.03.21	ルーマニア国立美術館の修復専門家への日本絵画・浮世絵等の修復方法指導を通じて、美術館運営に必要な人材育成、美術館の運営支援を図る目的で、日本から絵画修復の専門家を派遣
2	樺太時代文化遺産保存・修復支援（招へい）	イゴール・サマリ イリーナ・ゴニコ コーヴァ エレナ・サヴェ リエヴァ	サハリン州行政 文化局顧問 サハリン州行政 文化局長 サハリン州行政 文化局顧問	ロシア	サハリン州行政文 化局	2009.10.03 ～ 2009.10.10	平成20年度事業のフォローアップとして、サハリン州より州行政文化局幹部（文化財保存担当）3名を日本に招へいし、特に①北海道における歴史的建造物の保存・活用の現状視察、②樺太時代の史跡保存に関する日本側専門家とのシンポジウム開催、③歴史的建造物の保存・活用に関する政策立案当局の訪問及び意見交換等を実施
3	「デジタルアニメを通じた人材育成」フォローアップ（招へい）	Muhammad Hamze TARIK M. S. EL- KHATEEB	ゲームデザイナー ／コミック・アー ティスト オーガニック・ビ ジュアルアーツ社 グラフィック・デ ザイナー	シリア ヨルダン	王立フィルム・コ ミッション	2010.02.22 ～ 2010.03.19	平成19年度文化協力（派遣）「デジタルアニメ人材育成」派遣事業のワークショップ参加優秀者（シリア、ヨルダンから各1名、計2名）を日本に招へいし、日本のアニメ事情に関する視察及びデジタルアニメ制作に関する指導を実施
4	カマン遺跡文化財展示・保存支援	永金 宏文	株式会社ディグ 社長／展示ディレ クター	トルコ	カマン・カレホ ユック考古学博物 館 文化観光省文化財 博物館局 在トルコ大使館 中近東文化セン ター附属アナトリ ア考古学研究所	2009.05.19 ～ 2010.04.13	永金宏文（博物館展示会社・株式会社ディグ社長）を5月19～29日、2月28日～4月13日の2回にわたりカマン・カレホユック考古学博物館に派遣し、同博物館におけるカマン遺跡からの出土品の展示・陳列計画の策定方法を指導し、将来的な現地主導での博物館運営のために現地専門家を指導・育成
5	柔道人材育成	横山 喬之	柔道家	レバノン	レバノン柔道連盟 在レバノン大使館	2009.07.30 ～ 2009.10.03	日本人柔道専門家をレバノン柔道連盟に派遣し、各種柔道競技会、国際レベルの競技会への参加を目指すレバノン柔道競技者に対して技術指導を実施

文化協力事業費

	事業名	氏名	現職	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
6	音楽人材育成	マリー・ロレンツ ＝岡部 橋爪 恵一 村上 準一郎	フルート奏者 クラリネット奏者 トロンボーン奏者	ザンビア	エブリフォンカ レッジ教育学部	2009.07.22 ～ 2009.08.21	マリー・ロレンツ＝岡部（フルート奏者）、村上準一郎（トロンボーン奏者）、橋爪恵一（クラリネット奏者）をエブリフォンカレッジに派遣し、音楽家の指導教官・学生に対して楽器（平成13年度日本政府が文化無償協力で供与した機材）の演奏法を指導

1. 催し等事業費 / (2) 文化協力（助成）

海外の無形及び有形の文化財保存に協力する日本の機関が実施する国際共同事業に対し経費の一部を助成する。

合計額 9,948,913 円

	事業名	氏名	現職	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
1	柔道人材育成／招へい			特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー	中国	2009.10.07 ～ 2010.04.30	青島日中友好柔道館（平成20年度草の根文化無償支援）及び南京市・柔道館（平成21年度草の根文化無償支援）より、中国の柔道指導者候補3名を招へいし、選手の育成を通じて中国における柔道分野の指導者及び選手の人材育成を行う事業に対し経費の一部を助成
2	東アジアにおける日本画・岩彩画の教育と展開／派遣			岩彩画研究実行委員会	中国	2009.11.05 ～ 2009.11.14	中国の国画である水墨中心の技法が大勢の中国美術界の中で、日本で学んだ岩絵具を使う日本画の表現は岩彩画とよばれ美術展でも少数派に属し、帰国留学生の活躍の場は少ない。今回の交流展を通じて中国における岩彩画の周知と留学生に対する研究室単位でのサポートを実施。国際交流基金は、実施経費の一部を助成
3	日本伎楽とチベット仏教チャムの比較研究シンポジウム／招へい	細井 尚子	立教大学異文化コミュニケーション教授		モンゴル ブータン	2010.01.13 ～ 2010.01.20	日本伎楽とチベット仏教チャムについて、モンゴル、ブータン、米国より専門家及び舞手・演奏者を招へい。ブータンのチャム、モンゴルのチャムが国家との関係性などの点で、伎楽と背景や属性に共通点をもつことに焦点をあて、比較研究するシンポジウムを日本で開催する事業に対し経費の一部を助成
4	ホイアン町並み保存	友田 博通	昭和女子大学国際文化研究所 教授		ベトナム	2009.08.09 ～ 2010.09.07	急激な観光発展を遂げた「世界遺産ホイアン」が、遺跡保存の観点からは危機的状況にあるとユネスコから警告を受けている。ホイアン遺跡管理事務所の保存計画の見直しと能力強化のための支援事業に対し経費の一部を助成

文化協力事業費

	事業名	氏名	現職	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
5	オーケストラ演奏技術の向上のための育成ワークショップ／派遣	小林 恵子	指揮者	スリランカ交響楽団	スリランカ	2009.09.25 ～ 2009.10.11	スリランカ交響楽団員に対して、過去に交流実績がある小林恵子（指揮者）及び木村淳（フレンチホルン奏者）が指導を行う事業に対し経費の一部を助成
6	ネパール児童絵画教育プロジェクト第3回	金 斗鉉	画家（イラストレーター）		ネパール	2010.03.13 ～ 2010.03.23	ネパール・ポカラ地区の女子師範学校の教員及び師範学校生、ムスタン地区の公立学校（2校）の教員を対象に、児童美術教育及び日本文化紹介の指導法や手法に関する助言・指導及びワークショップを実施。国際交流基金は、実施経費の一部を助成
7	文化遺産保存修復支援	古庄 浩明	駒澤大学文学部歴史学科 非常勤講師		ウズベキスタン	2009.10.02 ～ 2009.10.24	ウズベキスタン芸術アカデミーの要請を受け、現地のニーズを踏まえた専門家チームを編成し、文化遺産保存修復に関する実技講習や講義の他、テキストの作成を実施。国際交流基金は実施経費の一部を助成
8	日本・ルーマニア「遺跡と環境を通じた創造」ワークショップ／派遣			特定非営利活動法人N・C・S	ルーマニア	2009.10.01 ～ 2009.10.07	日本・ルーマニアにおける文化交流の強化、とりわけ美術、建築、遺産を介した持続的交流の推進を目的にワークショップを実施。また世界遺産を含めた両国の遺産の保護や地域再生の方法論について、両国の専門家間でこれまでの成果を検証し、新たな方向を議論し、具体的なプログラムを構築する事業に対し経費の一部を助成
9	リビアにおける世界遺産教育の実践と文化遺産保護意識向上プロジェクト／派遣	日高 健一郎	筑波大学大学院人間総合科学研究科世界文化遺産学専攻長・教授		リビア	2009.08.01 ～ 2010.04.30	リビアの世界遺産及びそれに準じる遺跡を対象として、周辺に住む青少年・住民に世界遺産教育を行い、地域の文化遺産保護意識向上を図るための事業を実施。国際交流基金は、実施経費の一部を助成
10	ケニア、ガンビア・スポーツ協力事業／派遣			財団法人日本ソフトボール協会	ガンビア ケニア	2009.08.06 ～ 2009.08.20	ソフトボールが未だ一般的には普及していないアフリカ地域に、宇津木妙子（元日本代表監督）他専門家計4名を派遣。ガンビア、ケニアを中心としたアフリカ地域におけるソフトボールの普及活動に対し経費の一部を助成